

## 別紙

# 札幌国際交流館の指定管理者の選定結果について

### 1 選定委員会開催経過

第1回 令和4年7月27日 募集要項、選定方法等について

第2回 令和4年10月12日 書類審査、面接審査、選定

### 2 選定委員会委員

委員6名(市職員1人、外部委員5人)

委員長 高橋 彩 北海道大学副理事、高等教育推進機構教授

委員 武市 二郎 独立行政法人国際協力機構北海道センター次長

委員 千田 都茂美 社会保険労務士

委員 千葉 智 公認会計士

委員 ベクトゥルスノフ・ミルラン 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター非常勤研究員

委員 安岡 直美 総務局国際部長

### 3 応募団体

3団体(民間事業者2団体、出資団体1団体)

団体名(届出順)

・さっぽろグローバルアライアンス

代表団体:新生ビルテクノ株式会社

構成団体:株式会社日本水泳振興会

・公益財団法人札幌市公園緑化協会

・札幌国際交流館ウェルネスパートナーズ

代表団体:セントラルスポーツ株式会社

構成団体:株式会社クリーンコーポレーション

### 4 選定結果(指定管理者候補者)

#### (1) 選定された団体

札幌国際交流館ウェルネスパートナーズ

代表団体 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治

東京都中央区新川1丁目21番2号

#### (2) 選定の理由

札幌国際交流館ウェルネスパートナーズの提案内容は、施設の効用発揮に関する取組について、目標の利用人数、稼働率を達成し得る利用促進計画となっている点や、計画書の全体が施設の設置目的の達成、課題の解決に対し有効に寄与する計画となっている点などにおいて高い評価を得た。特に、国際交流関係団体等との連携を図った、有効かつ具体的なソフト事業が盛り込まれている点において高い評価を得た。

また、安定経営能力については、雇用環境の向上に向けた取組等の内容が適切である点や、管理業務に応じた支払賃金が確保されている点などにおいて高い評価を得た。

以上のとおり、札幌国際交流館ウェルネスパートナーズは、その提案内容において札幌国際交流館の選定基準に照らし、高い評価を得たことから、当該施設の指定管理者の候補者として選定された。

## (3) 評価結果

選定基準	基礎配点	札幌国際交流館 ウェルネス パートナーズ (候補者)	さっぽろグローバ ルアライアンス	公益財団法人 札幌市公園緑化 協会
①平等利用の確保	25 点	20 点	20 点	20 点
②施設の効用発揮	400 点	313.5 点	278.5 点	279 点
③安定経営能力	300 点	230 点	214.5 点	217.5 点
④管理経費の縮減	175 点	155 点	156.5 点	148.5 点
⑤その他	100 点	51.5 点	48.5 点	81.5 点
合計	1000 点	770 点	718 点	746.5 点
得点率	—	77.0%	71.8%	74.7%